

稲田 和巳

稲田和巳 潮

Kazumi INADA ushio

2.18 土 — 4.8 日, 2023
木 金 12:00—18:00
土 12:00—19:00
月 火 水 日 閉

2.18 sat — 4.8 sat, 2023
thu & fri 12:00—18:00
sat 12:00—19:00
mon, tue, wed, sun close

現代芸術振興財団ギャラリー
東京都港区六本木 6-6-9 ピラミデビル4階

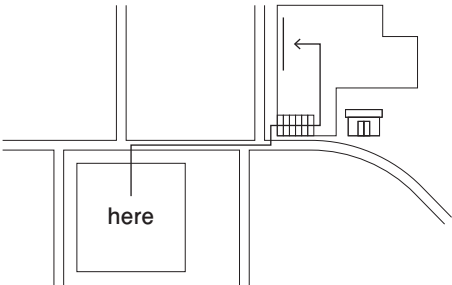
Contemporary Art Foundation Gallery
piramide bldg. 4f, 6-6-9, roppongi, minato-ku, tokyo

この度、現代芸術振興財団は稲田和巳個展「潮」を開催いたします。
稲田は、自身や身の回りの外界を計算機を用いて構造化し、観察することを試みてきました。作品を制作するアーティストであると同時に、背後にあるテクノロジーに携わるエンジニアとして活動することも特徴です。その作品は、稲田が「観測装置」と形容するように、見るもの自身が主体的に読み解き、我々の生きる世界への解釈を見出すことを促します。
本展では、シミュレーションシステムを構築し制作するメディアアート作品の新作を展示します。

『潮』は、社会統計データから生成された仮想の地形を用いて、地理空間に横たわる不可視な流れを考察しようとする取り組みです。地点を位置に、数値を高さに割り当てることで構築される地形は、現実の地表の形状モデルが天気や水の動きを推測するのに役立つように、データが持つ要素の動きを把握することを可能にします。

関連展示

《潮》と同じく、データを通じて社会を観察する作品として、インターネットユーザの活動からコミュニティの構造をシミュレートする過去作《*Instant Sympathy*》を展示します。



ラピロス六本木 ショーウィンドウ 会期中無休
本ビルを出て右、ファミリーマート手前の階段を上って左

LEDビジョンに表示されている輝点はそれぞれがソーシャルネットワークのユーザを表し、オンラインでの活動によってリアルタイムに出現します。輝点の色は共通した行動や言葉の使用を、位置関係はそれぞれのユーザ間の関係性を反映します。同時にオンラインであったユーザたちは、互いに共鳴しながらも、刻々とその姿を変え続けます。

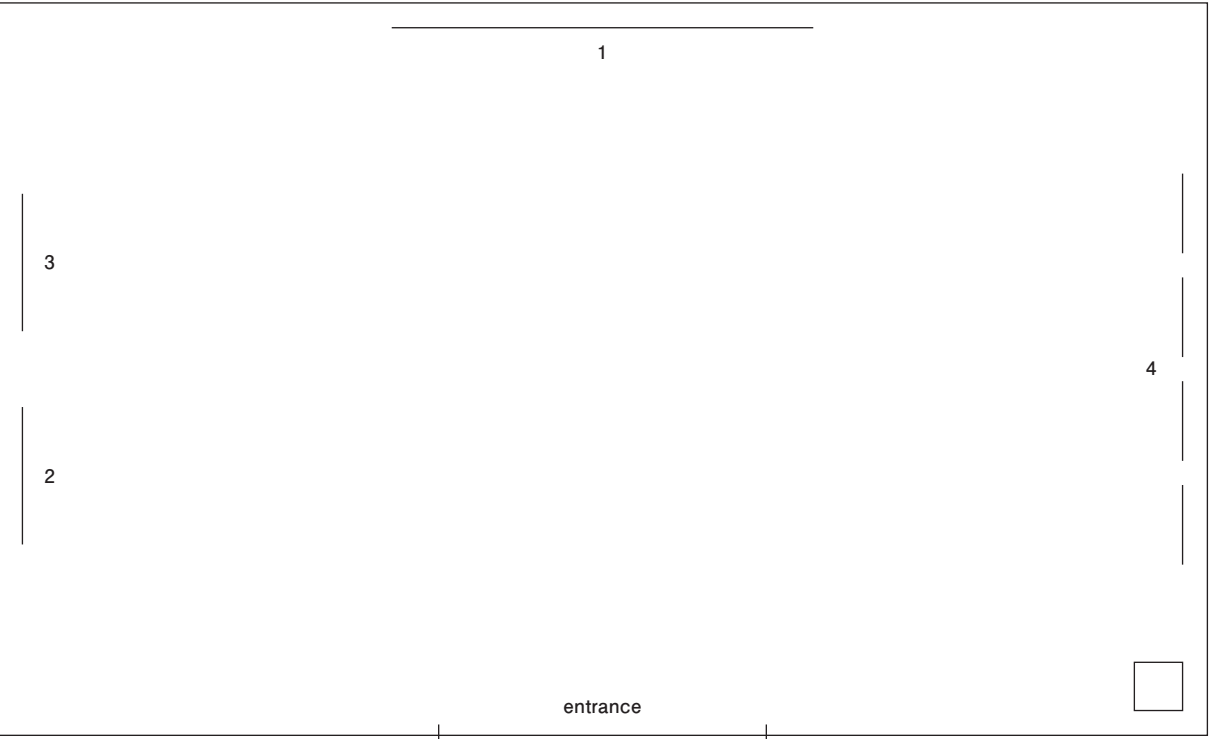
Instant Sympathy - Roppongi

コンセプト・システム：稲田和巳
ビジュアルデザイン：岡本太玖斗

rev. 1

稲田和巳 Kazumi INADA

1997年、大阪府生まれ。2021年より筑波大学大学院に在籍。アーティストとして、主な活動に「亀山トリエンナーレ2022」（三重・2022）、「CAF 賞2021」（東京・2021）、「住人たち 再制作と展示」（茨城・2021）、「つくばメディアアートフェスティバル2021」（茨城・2021）など。その他の活動に「中高生のための研究サポート動画」（ディレクション・2022）、「つくばSKIP アカデミー プログラミング実習」（教材設計と講師・2022）など。



- 1 潮（六本木）
- 2 潮（六本木） - 標高地形図
- 3 潮（六本木） - 陰影起伏図
- 4 潮（六本木） - データレイヤ

各展示物は、場所に紐付けられることができる社会統計データをそれぞれの地点の「標高」とした、仮想の地形モデルを用いたものです。たとえば地価統計のデータでは、統計が取られた地点ごとに、価格の相対的な高低を地形上の高さに変換しています。得られたまばらな点の間を数理的に補完することで、地形の「地面」ができます。
本展ではさまざまな側面を持つ複数の統計データセットを組み合わせるとともに、水や土を思わせる粒子を流すシミュレーションの様子を提示します。

- 等高線の間隔が狭い箇所は急な斜面を、広い箇所は緩やかな斜面を表します。

- 陰影起伏図は、立体の地形に北西（315°、画面左上）の方向から平行光を当てた様子を示します。光の方向に向いた面は明るく、逆方向に向いた面は暗くなります。

- 直感的には統計値の大きい地点をより高く設定しますが、本展においては粒子が重力により統計値の大きい地点に集まるように、統計値の大きい地点がより低くなるようにしています。

制作にかかる数理的な処理はコンピュータプログラムで継続的に行うように構成されており、地形、稜線、粒子の流れは、作家の主観的意思を介することなく生成されています。鑑賞者の目に直接触れることこそありませんが、これらのモデルを生み出すシステムこそが、《潮》のまさに主体であると言えます。

- 1 Ushio (Roppongi)
- 2 Ushio (Roppongi) - Topographic Map
- 3 Ushio (Roppongi) - Shaded Relief Map
- 4 Ushio (Roppongi) - Data Layers

展示の作品には、国土地理院オルソ画像、国土交通省位置参照情報、OpenStreetMapをはじめとするデータを加工して使用しました。またopenFrameworks、Blenderをはじめとする、ユーザコミュニティにより維持されているツールを利用し制作しました。これらのオープンなリソースの整備・開発に貢献してきたみなさまに謝意を表します。

主催 公益財団法人現代芸術振興財団
グラフィックデザイン 岡本太玖斗
施工 HIGURE 17-15 cas／株式会社オール